



豪雨と洪水に備える



豪雨または数日に渡る降雨の可能性を知るために天気予報をご覧ください。ここに示されたガイドラインは、水位の上昇に備えての準備に役立ちます。

個人の備え

- この「Take Winter By Storm」チェックリストを利用して、緊急用キットを準備します。これにはラジオ、懐中電灯、予備の電池、救急箱、緊急連絡先情報、水、保存食を含めます。詳細なリストは、TakeWinterByStorm.org をご覧ください。
- 雨具、撥水加工の衣類や予備の暖かい衣服を、緊急時のために家や車の中に備えておきます。

排水/地滑り

- 雨水排水口周りから落ち葉やがれきを掃除し、通りが洪水になったら、個人の財産に損傷を与えないようにきれいにしておきます。
- 水の溢れた配水口や通りについては、できるだけ早く通報してください。
- 住宅の雨水による損害が住宅所有者保険で補償されるかどうか再確認します。されない場合は、この補償を保険に追加してください。
- 自宅近くの傾斜地の雨水排水パターンを観察し、排水が合流する場所に注意してください。
- 敷地内に傾斜をつけ、水が土台や雨どいから離れたところで、敷地から雨水排水路に流れ込むようにします。
- 自宅周囲の丘を観察し、小規模な地滑り、土石流、徐々に傾いている木など、土壌の動きの兆候を見てください。地域の地質技術者または構造技術者に連絡して、問題の重大性を判断してください。

洪水

- 地下室や洪水になりやすい場所に保管する場合、貴重品は高い棚に置きます。
- 浸水した地下室には入らないでください。感電したり、溺れる可能性があります。
- 決して水溜りや、道路閉鎖の標識を超えて車で走行しないでください。
- 自動車が水にはまった場合、車を置いて高い場所に移動してください。1~2フィートの深さの急流で自動車は押し流されてしまいます。
- 過去に洪水になったことのある川の近くに住んでいる場合、河川の氾濫に備えてください。避難する場合に備え緊急用キットを用意し、すぐに持ち出せるようにしてください。
- 安全に気をつけます。洪水警報が出た場合、直ぐに高台に移動してください！洪水の緊急時は、避難指示やその他当局の指示に従います。ただし、危険が迫っていると思われる場合は指示を待つべきではありません。
- 洪水の中を歩いたり、遊んだりするのは危険です。わずか6インチ（約15センチ）の深さの水でも足をすくわれる場合があります！
- 住宅所有者、賃貸者、事業主は洪水保険を購入するべきです。
- 天然ガスの暖房用ボイラーが洪水のために停止した場合、水が引いてダクトが乾くまでボイラーの電源供給を遮断してください。
- 天然ガスの臭いがしたり、ガス漏れが疑われる場合は、屋内からすぐに出て、ガス会社または911番に電話します。
- 洪水によって水位がガスメーターを覆う高さになったら、ガス会社に通報します。ガス会社の担当者がメーターとレギュレーターをチェックしてから、ガス器具を使用してください。
- 洪水のために家や建物から避難しなくてはならない場合、安全に実行できる場合のみ、ガスや電気を切ります。これによって、ガスや電気器具への損傷を防げる場合があります。
- 影響を受けた器具が乾燥してその周辺がきれいになった後、ガス会社に電話して、天然ガス器具のサービス点検を予約します。

豪雨に襲われたら、まず自分自身の安全を確保します。そして家族、友人、隣人が大丈夫か確認します。